

第9回 熊本市自治推進委員会会議録概要

日 時：平成27年10月2日（金） 午前10時00分～12時00分

会 場：駐輪場8階会議室

出席者：明石委員長、田中副委員長、緒方委員、越地委員、篠塚委員、毛利委員、  
安永委員、遊佐委員、吉村委員

欠席者：毎熊委員

事務局	<p>1 開会</p> <p>ただ今から、第9回「熊本市自治推進委員会」を開会いたします。</p> <p>本日は、第8回の委員会でご提案のありましたとおり、実際の「学びの機会」・「対話の場」の取り組みについて、関係課からのヒアリングにより、検証を進めていくこととしています。限られた時間ではございますが、多くの事についてご質問いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、委員会は正午までの2時間程度を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続いて、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>【資 料】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○式次第</li><li>○席次表・出席者名簿（各課職員）</li><li>○意見整理表 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資 料 1</span></li><li>○「学びの機会」、「対話の場」取り組み状況一覧 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資 料 2</span></li><li>○「学びの機会」、「対話の場」取り組み状況一覧への質問票</li><li>○市民懇話会アンケート調査結果 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資 料 3</span></li></ul> <p>なお、第8回の委員会の議事録につきましては、既に各委員にご確認いただき、ホームページ上で公開しています。</p> <p>それでは、明石委員長よろしくお願いいたします。</p>
明 石 委員長	<p>それでは、第9回の自治推進委員会を始めたいと思います。</p> <p>審議に入ります前に、会議の成立について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ご報告させていただきます。</p> <p>本日は、毎熊委員が所用によりご欠席されているため、委員9名にご出席をいただいています。</p> <p>従いまして、熊本市自治推進委員会規則第5条第2項の規定により、本日の会議が成立していることをご報告いたします。</p>

<p>明石 委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>本日ご出席の2名の委員から、委員会終了前にご退席させていただきたい旨の申し出がありました。</p> <p>つきましては、次第を変更し、本日のメインテーマである次第の「2 地域での「学びの機会」や「対話の場」の取り組みについて」の事業担当課からのヒアリング調査を最初に行いたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜ 委 員 了 承 ＞</p> <p>2) 地域での「学びの機会」や「対話の場」の取り組みについて</p> <p>ありがとうございます。それでは、次第を変更しまして、議事2の「地域での「学びの機会」や「対話の場」の取り組みについて」です。</p> <p>冒頭に事務局から説明がありましたとおり、ヒアリング形式で検証を進めて参ります。まずは、資料及びヒアリング検証の方法について、事務局よりご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、ご説明させていただきます。</p> <p>まず、「参加者名簿」をご覧ください。本日、ヒアリング検証にご協力いただく各課職員の名簿です。職員の紹介につきましては、参加者名簿に変えさせていただきます。</p> <p>まず、資料2「「学びの機会」、「対話の場」取り組み状況一覧」についてご説明いたします。事務局におきまして、できるだけ複数の分野から平成26年度に実施されたものや、平成27年度に既に実施済みのものから、「学びの機会」に該当する7つの取り組みと、「対話の場」に該当する6つの取り組みを抽出しました。</p> <p>資料の見方ですが、左下段にあるページで、1・2ページが「学びの機会」、3・4ページが「対話の場」となっています。1ページ目の「学びの機会」ですが、上段、左の列から、1列目が第6次総合計画に位置づけられる章節、2列目が事業の名称と学びの機会の具体的な内容、3列目が担当課、4列目が学びの機会の実施方法、5列目が参加者に主に理解を深めていただきかったこと、6列目が想定していた参加対象者、7列目が参加者の集め方、8列目がより多くの方に参加していただくため、或いは参加いただいた方に理解を深めていただくために工夫したこと、8列目が実績として、回数、場所、参加者総数、参加者の男女比、年齢構成、9列目が参加者の満足度で職員の所感としてご回答いただいています。最後10列目が次回開催に向けての改善点について記載していただいています。</p> <p>次に3ページの「対話の場」をご覧ください。上段左の列から1列目から4列目までは「学びの機会」の表と同じです。5列目が参加者に主に話し合っていたいただきかったこと、6列目、7列目は「学びの機会」の表と同じです。8列目がより多くの方に参加していただくため、或いは参加いただいた方が発言しやすく</p>

	<p>なるように工夫したこと、8列目から最後の10列目までは「学びの機会」の表と同じです。</p> <p>次に、ヒアリング検証の方法についてご説明いたします。基本的には委員各位からのご質問に対して、担当課の職員に答えていただきます。あらかじめ事業の内容についての説明はいたしませんので、事業内容の把握が必要な場合には、委員から説明を求めてください。なお、質問はランダムにどの事業からでも結構です。以上でございます。</p>
<p>明石 委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料につきましては、事務局において整理していただきました。学びと対話の場、それを構成する様々な要素毎に一覧表の形で整理していただきました。これからヒアリング検証に入らせていただくのですが、まず、委員の皆様方から予め質問票をお出しいただき、質問の整理をさせていただきます。</p> <p>既に、皆様のお手元に配布させていただいているかと思いますが、この内容について、質問の真意とは違う、或いは質問の補足をしたいなど、修正等のコメントがございましたら、お伺いしたいと存じますがよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜修正等特になし委員了承＞</p> <p>それでは、進め方ですが、事務局からのご説明では、委員の皆様からランダムにご質問をいただくということでしたが、せっかく事前に質問票を整理していただいておりますので、この質問票に沿って、担当課の方からお答えをいただきまして、それに対して追加の質問があれば、委員の皆様からそれぞれ、質問していただくということとし、この質問票の全てに回答をいただいた後に、更にお尋ねになりたいことを質問していただくというように、進めさせていただきます。</p> <p>そのような進め方でよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜修正等特になし委員了承＞</p> <p>ありがとうございます。それでは、遊佐委員から全ての事業に対して、ご質問をいただいているようですので、その質問へのご回答からいただきたいと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、遊佐委員のご質問から、各課にご回答いただきたいと思います。まず、ご質問の対象は全ての取り組みに対してです。質問内容は、『学びの機会』、『対話の場』の取り組みについて実際された曜日と時間帯について、把握されている範囲で教えてください。」というものです。</p> <p>資料1ページ、「学校規模適性化経費」から順にご説明及びご回答をお願いいたします。</p>
<p>学務課</p>	<p>学務課です。昨年度8回実施しました。地域説明会ということもありまして、できるだけ夕方の時間帯、午後7時以降に開催しました。また、地域からの要望</p>

	もあり、曜日は出来るだけ平日ということで、土日は避けたところで実施しました。
スポーツ振興課	スポーツ振興課です。昨年度4回実施しました。その内の3回は平日の夕方、18時30分から20時まで。1回は土曜日に開催しており、14時から16時までということで行っています。
文化振興課	文化振興課です。こちらの取り組みは熊本市西区の池上町にあります、国指定史跡の池辺寺跡の現地説明会を実施しています。現在、史跡の整備を進めているところで、その整備に伴って発掘調査を行っており、その成果が出たタイミングに併せて、現地説明会を実施しています。平成20年度から通算14回実施してきました。土曜、日曜を中心に実施しています。遺跡の公開につきましては、終日行っているところですが、現地見学会につきましては、午前中2回、午後2回程度で、専門職員が説明を行っています。
農業政策課	農業政策課です。地域説明会ということで、地域のキーマンとなる方に事業の内容について理解していただくということで、後ほど「対話の場」でご説明します、グループヒアリングを行う前段階として、夏と秋の2回、夜間7時30分から9時30分に実施しています。
都心活性推進課	都心活性推進課です。資料は2ページになります。シンポジウムの開催をさせていただいています。事業の内容としましては、昨日より仮バスターミナルになりました、シンボルロードの部分の将来的には歩行者空間化していくこと、併せて、現在、暫定整備をしています、(仮称)花畑広場、花畑公園や辛島公園といった空間をオープンスペース、それと桜町の再開発を一体としてまちづくりを進めていくという事業でございます。シンポジウムにつきましては、これらの事業を進めていく中で、平成26年度に策定した基本計画の中身であるとか、将来的な利活用という部分では、文化芸術を通したまちづくりという内容を踏まえて、今回実施しています。開催日は9月6日の土曜日、時間は午後2時30分から実施しました。不特定多数の市民の皆様にご参加いただきたいということで日時設定をいたしました。
交通政策総室	交通政策総室です。私どもはオープンハウスを開催しております。目的としましては、公共交通の積極的な利用を促すというものです。広く多くの方々に参加していただきたいという趣旨から、平成26年9月27日の土曜日に実施しました。時間帯は午前10時から午後4時までです。
建築計画課	建築計画課です。私どもは住宅情報提供事業としまして、市民の方への住まいへの意識啓発ということで、「住まい作りフェア」というものを開催しております。国土交通省の方で毎年10月を「住生活月間」ということで提唱しており、それに併せまして、年に1度10月にフェアを開催しています。できるだけ沢山の方に来ていただきたいということで、毎回、日曜日の午前10時から午後16時まで開催しています。
生涯学習推進課	生涯学習推進課です。資料は3ページになります。地域コミュニティセンター建設のワークショップを開催しています。今年度は全4回、開催日時は平日のお

	<p>およそ3時から5時に設定し開催しています。地域の皆様と市と設計業者の3者で日程を調整し開催日時を決定しています。</p>
消費者センター	<p>消費者センターです。消費者団体連絡会へ補助金を出している事業になります。役員会を年に11回（H26：4/8、5/7、6/11、7/9、9/8、10/2、11/5、12/15、H27：1/26、2/9、3/9、4/20、5/12、6/15、7/27、9/2）実施しています。何れも平日の午前10時或いは午後1時30分から2時間程度開催しています。会場は全て消費者センター内の法律相談所を使用としています。</p>
食品保健課	<p>食品保健課です。田崎市場体験を実施しています。体験の内容としましては、市場での、野菜の模擬競りと、市の方で実施しています、残留農薬の検査などを体験していただいています。体験の後、参加者、行政、市場の営業者を交えて意見交換会を実施しています。食品保健関係の分野を学んでいる大学生と市内在住の親子を対象に2回実施しています。開催の日時につきましては、実際に市場が営業している日でないといけませんので、多くの方に参加していただくために土曜日に設定しています。平成26年度は7月26日土曜日に大学生を対象として、8月2日土曜日に親子を対象として実施しました。時間は何れも午前9時から12時30分に実施しました。</p>
農業政策課	<p>農業政策課です。こちらの取り組みは旧河内町の芳野地区の東門寺集落という場所で実施しています。こちらの事業について、グループヒアリングを、昨年（平成26年）の11月5日、12月19日、それと今年（平成27年）の1月19日と2月10日ということで全4回実施しました。地域の農家の方が中心となる会議ですので、夜の7時30分から9時30分ということで実施しています。</p>
都心活性推進課	<p>都心活性推進課です。資料は4ページになります。ワークショップの開催を4回開催しています。（仮称）花畑広場が平成27年3月7日にオープンして、そのオープンに向けた市民協働の企画について話し合いました。公募によるアイデアを基にイベントを企画するというもので、第1回目が平成26年11月22日（土）午後3時から、第2回目が平成26年12月8日（月）午後6時から、第3回目が平成26年12月23日（火）祝日の午後3時から、第4回目が平成27年2月11日（水）祝日の午後3時からということで行っています。</p>
広聴課	<p>広聴課です。市民との直接対話事業ということで、市長が直接地域に出向きまして、市の取り組みなどを説明した後に、直接市民の方々から幅広く、色んなご意見をお伺いしまして、それを市政に反映させていくということを目的に開催しているところです。今年度は各区2回、合計10回開催する予定で、8月に第1巡目として各区を回ったところです。第2巡目は今月10月から11月にかけて実施する予定です。開催の曜日につきましては、広く多くの方に参加していただきたいということもありまして、平日の夜午後7時から午後9時までの時間帯で開催しています。</p>
明石委員長	<p>ありがとうございました。 遊佐委員のご質問に各担当課よりご回答いただいたところですが、遊佐委員いかがでしょうか。</p>

遊佐委員	「学びの機会」や「対話の場」をセッティングする際、どういう方々を対象に、時間や曜日を設定しているかということも併せてわかりました。ありがとうございました。
明石委員長	それでは、篠塚委員、安永委員からも個別に複数のご質問をいただいています。限られた時間の中で担当課からも十分なお説明をいただきたいので、絞込みをかけて、特にこのポイントだけは確認したいという点を仰っていただければと思います。それでは、篠塚委員からよろしく願いいたします。
篠塚委員	<p>「学びの機会」の2つ、「池辺寺跡発掘調査経費」と「桜町・花畑周辺地区まちづくり推進経費」の取り組みについては、市民の方に学んでいただいた上で、まちづくりの取り組など、どのように市民の方に活かしていただきたいと考えていらっしゃるのか確認をさせていただきます。</p> <p>「対話の場」の2つ、「消費者団体連絡補助」と「市民との直接対話開催経費」の取り組みについては、参加者の偏りがあるように感じました。消費者団体の取り組みでは、年配の女性が多く参加しておられました。テーマが「買物袋持参キャンペーン」という事例があったことから、昼にコンビニエンスストアに行くとは分かりますが、若いビジネスマンの方々がレジ袋をたくさん提げていらっしゃいます。そのような方との、対話の場を設定する予定があるのかということも気になりました。「市民との直接対話経費」については年配の男性の方が多く参加されています。女性の方や多くの年代の方の対話をどのように考えていらっしゃるのか確認させていただきたいと思います。また、場所によってテーマを絞ってあったのかもしれませんが、非常に広いテーマで話をされるとと思いますので、実際、どのような意見が出されたのかということを確認させていただきたいと思います。</p>
明石委員長	それでは、ただ今のご質問について、担当課の方から完結にご回答をよろしく願いいたします。
文化振興課	文化振興課です。西区の池上町に池辺寺跡という、平安時代を中心とした山岳寺院の跡があります。これは、国指定の史跡になっています。現在、史跡整備を進めているところで、今年度の末には、史跡整備の短期整備が終わる予定です。整備が終わりましたら、その後は史跡公園として公開をする予定となっています。史跡整備に伴いまして、発掘調査を昭和61年から段階的に進めているところですが、一般に公開する現地説明会については、平成20年度以降14回開催しており、非常に多くの方にご参加をいただいています。ご参加いただいた方が、池辺寺跡という歴史的遺産についてより理解を深めていただき、その話を家族や身近な方々へ話していただくことによって、自分達の地域に他に誇れるような歴史的な文化遺産あることを認識していただきたいと思っています。より多くの方に説明会に参加していただくことで、地域への愛着が深まり、そのような人を増やしていければと考えています。
都心活性推進課	都心活性推進課です。今回のシンポジウムにつきましては、基本計画の策定に基づき、将来的な利活用の部分に焦点を当てた内容としました。特に文化芸術と

	<p>いった部分で、別府で混浴温泉という文化イベントを2年に1回開催していらっしやる、山西さんという方をお招きしまして、街中で広がる文化ということをテーマに行われました。文化芸術と言いましても、人が何かをすること全てを芸術と捉え、そういったことを、広場やシンボルプロムナードで実際に市民の方に行っていたきたいという内容でした。現在、暫定整備を進めています広場の方でも、沖縄の伝統舞踊でありますエイサーの披露でありましたり、ヨガでありましたり、個人でライブをされたりと様々な形で市民の利用がされています。そのような形で、今後も利用が広がっていけばよいと考えています。</p>
広聴課	<p>広聴課です。先ほどの質問で、テーマが絞ってあるのかということでしたが、基本的にはテーマを絞らずに行っています。市長も、ざっくばらんに、市民の皆さまから、地域の身近な事から大きな事まで、何でも結構ですので、ご意見くださいというスタンスで呼びかけを行っています。したがって、非常に幅広い様々なご意見が出ます。例えば、これから熊本市をどうしていきたいというものであったり、地域の観光資源を活かして地域のまちづくりを活性化して欲しいなどの大きなテーマの内容であったりします。道路の拡張、空地の除草、信号機の設置など生活に密着したものが多くご意見されます。このように、身近なお話から大きなテーマのお話まで、幅広くご意見を伺って市政の参考とさせていただきます。</p> <p>参加される方の年齢としましては、まちづくりに関わっていらっしやる自治会長さんなどの参加が多くて、60歳以上の男性に偏ります。その点は広聴課としましても、課題であると認識していきまして、来年度からは若い世代、或いは女性の方の参加を呼びかけようということで、学生を対象に大学に呼び掛けたり、子育て世代の女性をターゲットに子育てサークルに声を掛けてみたり、また、青年会議所にも呼び掛け行方などの検討をしてみたいと思います。</p>
明石委員長	<p>篠塚委員ご質問への回答を概ねよろしいでしょうか。また、後ほど、追加の質問の時間は設けたいと思いますのでよろしくお願ひします。それでは、安永委員のご質問に移りたいと思います。ご質問の内容について、先ほどのとおりの説明をお願いいたします。</p>
安永委員	<p>全体的に若者の参加が少ないのではないかという印象を持ちました。「地域コミュニティセンター建設経費」のワークショップについてご質問します。高齢者の参加が多かったとのことですが、地域コミュニティセンターは様々な人が活用する場なので、幅広い年齢層が対話する必要があると思います。参加対象者の幅を広げることは考えていないのですか。</p>
生涯学習推進課	<p>生涯学習推進課です。地域のコミュニティセンターの基本設計の作成ということで、参加者は地域に限定しています。また、基本的には参加者の選定は地域に任せていて、人数もあまり多すぎると意見も多岐に渡ってきますので、20名程度に絞りこんだ上で、男性女性、年齢層も極力幅広く参加していただいた上で基本設計をまとめていきたいというスタンスでいます。今年は、楡木校区のコミュニティセンターの基本設計を検討したのですが、結果的に年齢層が高くなりまし</p>

	<p>た。ちなみに、昨年は白川校区でしたが、こちらは小中学校のPTAの方の参加もあるなど、地域によって参加者の構成も変わってきます。</p> <p>コミュニティセンター建設もそうですが、その後より多くの方に利用をしていただきたいので、まずは地域のコミュニティセンターを認知していただくことが先決と思っています。</p>
明石 委員長	<p>事前の質問票の内容については以上でお答えをいただいたということで、担当課の方から、学びと対話の場の開催の実績、何回開催し、いつ何時の時間帯で、或いは参加者はどうであったのか等のすべての課からお答えをいただいたところであります。あとは論点としては、参加者が特定の世代に偏る、特に若い人の参加が少ないので、どのようにしてそのような場に引き付けるのか、そのあたりの工夫についての質問にお答えいただきました。それでは、これからあとは、先程の追加の部分でも結構です。折角担当の方もお忙しい中お越しいただいておりますので、特にこの場でお尋ねになりたいことを自由にご質問いただければと思います。</p>
毛利 委員	<p>毛利と申します。お手元に質問票がいつていると思いますので、そちらを見ていただきたいと思います。4項目質問として挙げております。桜町・花畑周辺地区まちづくり推進経費ですが、市政日より等いろいろな広報をされているので、そのあたりは良くわかるのですが、芸術文化活動の取り組みのイベント企画があつているのご説明でしたが、熊本の伝統芸能などが広場等で行われるのか、検討されているのでしょうか。</p> <p>それから、都市政策研究所というところがあると思いますが、そことの連携はされているのでしょうか。中心市街地のまちづくりの会、新町・古町の周辺の会、交通センターとの跡地との連携、MICEというのは大変大きな事業ですので、都心活性推進課の方々は大変かと思いますが、今申し上げた点についてご意見やお考えがありましたらお知らせいただければと思います。</p> <p>それから2番目の公共交通基本条例の推進については、特に交通センターの工事期間中にバスターミナルが3年程仮営業されることになってはいますが、バスターミナルの使用方法について市民の意見がどのように反映されたのかを教えてください。</p> <p>また対話の場のところでは、コミュニティセンターの新設はもちろん必要ですが、そろそろ修復や建て替えの必要なコミュニティセンターが出てきております。そちらも併せて検討されているのでしょうか。</p> <p>4番目は広聴課にお尋ねしたいのですが、既に「ドンドン語ろう！」ということで大西市長が各区に出かけて、いろいろな対話の場を開いておられますが、先日中央公民館で開催されました分に、100人選抜で私も参加いたしました。約2時間のうち市長が1時間、区長を合わせると1時間10分程お話されましたもので、私たちの意見発表、それに対する回答をいただく時間が非常に短くなりました。今後そのようなことがないように、対話の場であれば対話の時間を長くするようにして欲しいと思います。これは私の意見ですので、広聴課の方の意見が</p>

	<p>あれば仰っていただきたい、なければ要望として受け止めていただきたいと思います。</p>
都心活性推進課	<p>都心活性推進課でございます。桜町・花畑の取組みについて3点のご質問について、1点目の伝統文化活動等ができるのかということについては、特に規制をしておりませんので可能でございます。現に、沖縄の伝統文化でございますが、エイサーを舞踊として行った経緯もございます。毛利委員が仰ったことは、「能」などのようなものも含めてだと思いますが、そういった形のものも否定はしませんので、広場の活用方法は市民の皆様から提案していただきたい、どんどん活用していただきたいと思っております。</p> <p>2点目、都市政策研究所との連携については、本会の検討委員会というものを設置しております。そちらの会長が都市政策研究所の蓑茂所長が兼ねておられます。そういったところでもお互いの情報交換は行っております。当然、歴史のまとめられた資料についてもいただいておりますし、広場やまちづくりの資料等についても多種多様なものが揃えられておりますので、情報提供をいただいているところでございます。</p> <p>3点目が周辺地域との連携についてですが、将来形という形にはなりますが、当然まちづくりを考える中では、桜町・花畑周辺地区、M I C Eを含めた部分での取組み、その周辺の商店街や新町・古町との連携は重要であると考えております。今回の桜町・花畑地区というのは中心市街地の核となる部分と捉えておまして、それを連続的に結んでいくような取組みを今後考えていきたいと思っております。</p>
明石委員長	<p>はい、ありがとうございます。それでは公共交通の関係はいかがでしょうか。</p>
都心活性推進課	<p>バスターミナルの使用方法に市民の意見をどのように反映されたのかというご質問がありました。本日、ご出席している交通政策総室の職員が担当していないとことですので、私どもの方が若干関わっておりますので、私の方から少し答えさせていただきます。</p> <p>桜町地区、その周辺の方々には説明に伺って周知しております。城東校区までは説明に伺っていると思うのですが、恐らく新町までは行き届いておらず、このようなご意見があがったのではと思っております。</p> <p>利用者の方へはバスや電車内に掲示してお知らせ等をさせていただいております。市民の方から特に利用についてのご意見は届いておりません。現況、まだ稼働して2日目ですので、戸惑われている方もいらっしゃるかと思いますが、今後、運営していく中で、直接関わっている九州産交をはじめとする各バス会社の方と一緒に改善点等見つけていきたいと思っております。</p>
明石委員長	<p>それでは、あとコミュニティセンターと市民との直接対話の方は先程の篠塚委員からのご質問とかなり重複している部分があったかと思いますが、特に追加でお答えをいただけたところがありましたら、それぞれお答えをお願いします。</p>
生涯学習	<p>生涯学習推進課です。コミュニティセンターの修繕のお話ですが、全市的に施</p>

推進課	<p>設の老朽化が問題となっております、その中でコミュニティセンターも同じような状況に入りつつあります。修繕については一気にということは財政的に厳しいところもございますので、計画を組んだ上で長期的に取り組むことをこれから検討していかなければと思っております。</p>
広聴課	<p>広聴課でございます。市民との直接対話の件ですが、確かに毛利委員からご意見をいただいたとおり、今年度の最初に中央公民館で開催した際には、市長の説明が予定よりかなりオーバーしてしまいました。言い訳がましくなってしまうのですが、今年度の最初の開催で、市長も勿論初めてということで、熱が入ってしまいました。大変申し訳ございませんでした。他の方からも「折角足を運んだのに発言が出来なかった。」等のお叱りの言葉をいくつか頂戴いたしました。その後は、説明の時間を30～40分程度に納めるように改善いたしまして、より多くの方から発言をいただける時間を確保しているところでございます。</p>
毛利委員	<p>先程、永野さんからお答えいただいたバスターミナルの件ですが、9月のまちなか工場の勉強会のときに説明がありました。そこでは新設する待合室が2カ所で合計3カ所となる。新設する2カ所のうち、一カ所はトイレをつけるが、一カ所はトイレがないとのことでした。他には、お客さんが待っている場所の屋根やベンチがないとの説明もありました。このようなことは事前にわかることなので、いろいろな会議の際にヒアリングがうまく出来ていれば、準備できたのではないかと思います。</p> <p>その辺りは、交通政策総室の方ではよくわかっているのではないかと思いますので、今後のご対応をよろしく願いいたします。</p>
明石委員長	<p>ご要望・ご意見として承らせていただきます。</p>
田中副委員長	<p>熊本大学の田中と申します。よろしく申し上げます。私たちは行政に関しては素人なので、ぜひ教えていただきたいと思っております。それでは、運動を兼ねて本日もご出席いただいている12名の方に手を挙げていただき、アンケートをとろうと思っております。大学の先生がこのようなことを行くと、あてられて発言を要求されると思われがちですが、あてませんので手を挙げていただければと思っております。皆さん今日は担当課としていらしています。行政の中で新しいことを始めることは難しいことだと思っておりますが、今回、担当されている中で、何か新しいことを行ったという方、手を挙げてもらっていいでしょうか。取り組み事体が新しいことかもしれませんし、取り組み中でコミュニケーションのとり方などで新しい取り組みをとりいれた方です。</p> <p style="text-align: center;">＜ 職 員 挙 手 ＞</p> <p>3名ですね。ありがとうございます。もう一つ質問があります。これまでの議論の中で、いたずらに市民とのコミュニケーションをとることで、行政の皆さんのお仕事が増えることは良くないと、私は思っています。例えば、他課でも似た</p>

	<p>ようなことを行っているなら、一緒に行く方が良い学びの場になるのではないかとということも議論しました。今回の皆さんの事業の中で他の課との連携を意識された場合があったかどうかということをお教えください。</p> <p style="text-align: center;">＜ 職 員 挙 手 ＞</p> <p>5名ですね。今のも簡単なアンケートでして、12名の方がいらっしゃって、最初の新しいことに取り組まれたのが3名の方で、他の課と連携された方が5名でした。私達はこの人数が増えていくことが好ましいのではないかと、議論させていただいています。</p> <p>このようなことは急に変わっていくことはできないので、やってみて成功だったか、失敗だったかということをお聞きしたいです。勿論、成功だということが望ましいのですが、新しいことを行って失敗ということも有り得ると思います。熊本ではまだ早すぎた、区制になりこれは区役所が行うべきだったなど、そのようなことを、この委員会から今年度末に提言したいと思っています。今度の質問は答えていただきます。皆さんの取り組みの中で他の課に自慢できることがある方に自慢していただきたいのです。出来れば先程の質問で手を挙げてくださった課に、お願いできればと思います。私達は是非そのようなことを聞かせていただけたらと思っています。</p> <p>このようなときに、このようなことを行ったから成功した、或いは、失敗したことなどについてお話いただくと、私達は一般住民ですので、こうすると上手くいくのではないかとことも言えると思います。どなたか1名、勇気のある方いらっしゃいませんか。お悩み相談などでも結構です。是非、田中のために一肌脱いでやろうという方、お願いします。</p>
<p>都心活性 推進課</p>	<p>都心活性推進課でございます。今回取り上げていただきましたワークショップは、単なるワークショップではなく、市民の皆様に企画段階から入ってもらおうという取り組みです。</p> <p>実は、ワークショップの前に前段がありまして、アイデア募集ということを行っています。都市における新たな空間である「まちなか広場」について理解を深める為のシンポジウムを実施し、それに参加していただいた方を中心に、市政だより等で、広場の利活用を含めてどのような空間にしていくか、どのようなことをこの広場で行いたいのかというアイデアを募集しました。その中から優秀作品を一つ選びまして、それをベースに今回のワークショップを開催しております。その際に、アイデア応募をしてくださった25名の方を中心としまして活発にご議論いただきまして、イベントの内容を決定し、その後、準備や運営、後片付けまでやっていただくという形で、3月7日にイベントを実施いたしました。</p> <p>参加していただいた方には、最終日は午前6時～7時ころから一番遅い方は午後10時まで拘束してしまったという、おそらく前代未聞のことではないかと思っております。ちなみに安永委員にもメンバーとしてご協力いただいています。</p>

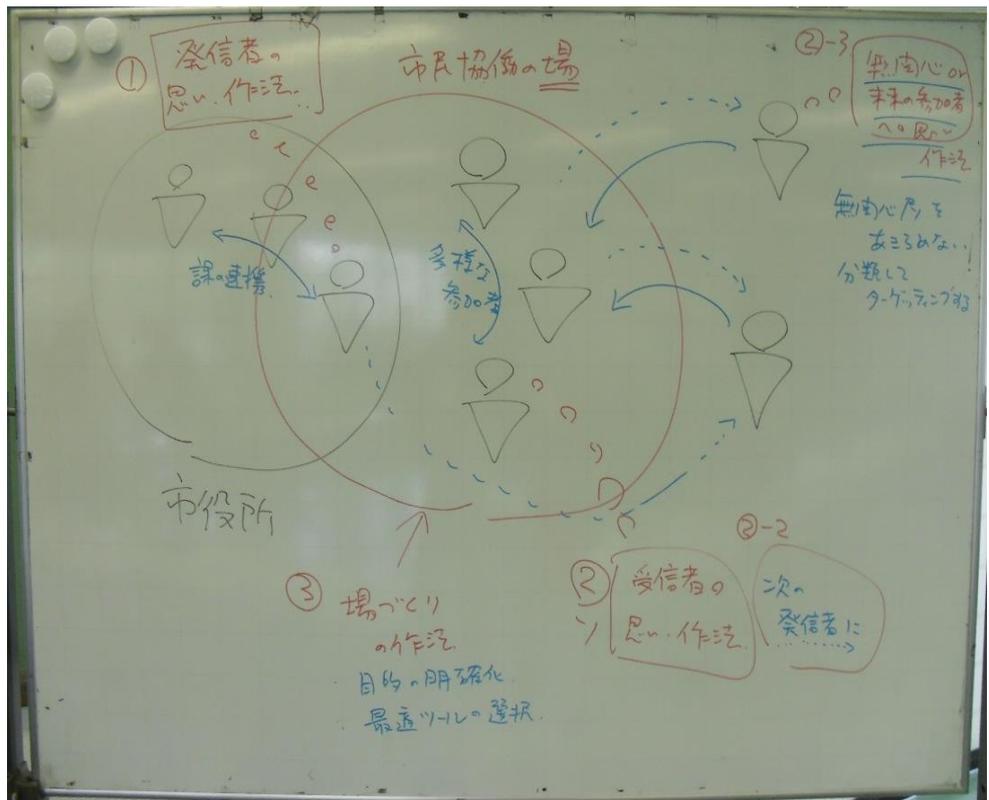
	<p>反省点として、こちらのイベントは当初、4回のワークショップを、昼間のイベントとして計画しておりました。最終的にはやはり夜もないと盛り上がらないのではないかという意見があり、行政を主体としてコーディネーターをしている方々を組み込んで、ワークショップメンバーのご意見を伺うことなく夜の部を追加開催しました。さらには、ワークショップメンバーの皆さん方への開催告知が、開催日前日となってしまうという不手際があり、メンバーには日程調整などご迷惑をおかけした事がありました。もう少し詰めた議論の必要性を感じ、時間をかけて行っていくべきであったと反省しております。</p>
田中副委員長	<p>ありがとうございます。安永委員はその参加された25名の中にいらしたのですか。その感想も教えていただいてもよろしいでしょうか。できれば、成功と失敗を交えて一つずつお願いします。</p>
安永委員	<p>私はまず、その広場のアイデア募集のコンペに応募し、2次審査までお世話になり、その後のワークショップと当日の実行まで参加させていただきました。企画の段階から参加するということが初めてで、学生の私にとっては貴重な体験だったということが一番良かったことだと思います。</p> <p>また、ワークショップに参加するための時間調整が学生としては難しかったので、そのような点に気を遣っていただくと、もっと参加者は増えたのではないかと思います。</p>
田中副委員長	<p>ありがとうございました。皆さん報告書は作成されると思うのですが、そのような赤裸々なわかりやすい報告書を市役所の内部だけでも結構ですので、共有し、そしてこの自治推進委員会のような場に資料として出してもらえると私達も勉強になります。</p> <p>たまたま私はワークショップメンバーに知り合いがいるので、よく話は聞いています。最初は、市役所の皆さんが主導で行おうとしていたことを、その後、市民の皆様と一緒に考えていくという方向転換をされたことで、例えばプロジェクションマッピングや玉入れなど、市民発のアイデアがたくさん出てきました。</p> <p>それは市役所の皆さんが新しいことをやってくれたという、良い感じのスパイラルを起こしたと思います。最初は行政主導でいいと思いますが、最終的には市民の方からそのようなスパイラルを起こせるようになることが必要です。失敗しても同じ失敗を繰り返さなければいいと思いますので、新しいことにチャレンジして詳らかにしていくことが、このような場の活性化に繋がっていくと思います。</p>
明石委員長	<p>ありがとうございます。新しいことや横の連携の話、まさにこの場はそのようなことを考えていく場だと思います。個別の対応より、手続きや手順、そして市の職員の意識をいかに変えていくかということが非常に大事なテーマでありますので、田中副委員長の方ですっきりとまとめていただきました。誠にありがとうございます。特に安永委員の実際にワークショップに参加してみて非常に良い学びの場であったが、時間の設定などまだ工夫の余地があるというのは、若い方の正直な意見だと思います。田中副委員長が仰ったように、そのようなものを情</p>

	<p>報として市の組織の内部で共有していく、これが提言しようとするものの一つのねらいであると思うのですが、意外とそういったことは伝わらないので回数をこなすだけが目的となってしまう、本来の目指すべき方向がなかなか達成できないというのも現実としてあるのかと思います。そういったところを頑張っていただければと思います。</p>
<p>越 地 委 員</p>	<p>いくつか事例発表をしていただいたことへの感想です。満足度というものがそれぞれついています、「概ね満足」もしくは「満足」が圧倒的多数です。これは外部で非常に勝手な言い草になってしまいますけれども、そうなのだろうかという気がしてなりません。失礼な言い方を許してもらおうと、「満足」の基準が低いのではないかという気がいたします。「不満」であるということから、次にどうやって改善しようかという発想が生まれてくると一般的に思います。これは感想ですので、私がどうこう言えるものではないのですが、残念ながら「不満」であるというのを一つのエネルギーにしていいただければと思います。</p> <p>市民懇話会がこの後のテーマになっておりますが、懇話会に限らずこのような学びの場・対話の場において、市が行いたいテーマ設定と住民が行ってみたいテーマ設定にずれがあると思います。市が主導してこのようなことを聞いてみたい、聞いて欲しいというので場を設定するのは当然のことです。一方で、地元でこのようなことを学びたい、対話してみたいという地元からテーマを拾うことも大切なことではないかと思えます。とはいえ全部を受け付けてしまうと、優先順位はつけにくいですから、そのような意向を地元でどれくらいもっているのかを把握して、そして市がそれをいかした形でいろいろな学びの機会・対話の場を設定していけたら良いのではないのでしょうか。</p> <p>それから実際にはあっているかも知れませんが、ネットでの学びの機会・対話の場というものが今お聞きした範囲ではありませんでした。例えば若い人や女性が参加できない事情はいろいろあります。ネットを避けて情報世界は生きられないので、テーマについてネットでも投げかけたり、理解を促したり等、ネットでの対話の場を是非検討して欲しいと思います。ネットは顔が見えないなど怖さがあり、いろいろな非難中傷があります。際限もなくエンドレスで、欲求不満の場になりがちな怖さもあります。そこは上手にコントロールをして、何とかクリアできると思うので、直接顔を合わせる学びの機会・対話の場を大事にしつつ、ネットでも展開していくことで、直接参加できない方々を拾うことが出来るのではないのでしょうか。ネットは避けて通れないものであると思います。</p> <p>もう一つ、これは今日でなく次回の回答でも結構ですが、今日のテーマと直接の関係はありません。この委員会ではどのように市民に情報を伝え、どう共有し、浸透させていくかをテーマとしています。先日開催された花火大会の際の情報伝達についてですが、かなりトラブルが起きました。このような場合は市民全体や市外の方を対象とした情報伝達となります。災害時に近い、今後も起こりうるケースだと思います。よってこのケースを今後どのように教訓としていかしていくのか、検討していることや現状を次回にでも教えていただければと思います。</p>

明石 委員長	情報共有に向けてのツールやテーマの設定など、貴重なご意見ありがとうございます。それでは他に、今日ご発言のない吉村委員、緒方委員何かありましたらよろしくお願いたします。
緒方 委員	二つだけお尋ねしたいことがございます。 一つは消費者団体連絡会補助の取り組みについての対話の場が狭い捉え方だったのかなと思いました。他の取り組みが対話の場・学びの場として一致している中で、異質に感じました。こちらの取り組みを選ばれた理由をお尋ねしたいところです。 もう一つは活気あふれる元気な農村地域創造事業についてですが、消費者も入って一緒に対話し、農業に携っている方々が新しいものを創り出そうとする団体を作られるならば、課を越えた連携が必要だったのではないかと思います。一つの意見として提案させていただきます。
明石 委員長	はい、こちらは事務局にお答えいただく内容ではないかと思しますので、お願いたします。
事務局	事業の抽出の方法ということで、答えさせていただきます。私どもが年度末に「市民参画と協働の取り組み実績調査」というものを行っております。全庁的に第6次総合計画の実施計画を構成する全事業について照会をかけます。2000事業程度ございますが、その中から市民参画や協働の手法に照らし合わせて、ご回答をいただいております。確かに緒方委員のご指摘のとおり、実際はその中身を確認してみると定期的な連絡会という要素が強いことも事実でございます。ただその中でも、例えば消費者団体のものでいきますと、グループの方が中心となり、各種イベントの企画等を話し合われている要素がございますので、整理としてはグループヒアリングとしているものです。事実として、グループヒアリングと整理しているものは全体的に数も少ないのですが、グループヒアリングに近いものとしてこの事業を出さしてもらいました。事例として、出来るだけ事業分野や対話の形式など、広く網を張ったほうが良いと思ひまして抽出したところです。担当課と私どものヒアリングの中でも、本当にグループヒアリングとしていいのだろうかというお問い合わせもありましたが、グループが主体となって話を進めていくという形式も対話の場に必要ではないかと思ひます。以上が、今回、事例を抽出した経緯でございます。
明石 委員長	それでは吉村委員、何かありましたらよろしくお願いたします。
吉村 委員	たくさんの事例、そして朝早くから夜遅くまでということで、一生懸命取り組んでいらして大変だと思ひながらお聞きしておりました。ほとんどの事例において男性の参加者が多いというのが共通しておりますが、生活・消費・食品をテーマとした事例になると、逆に女性の参加者が多くなるようです。話し合いの中で「女性や若い人の参加を増やす」ということがでてきておりますが、生活・消費・食品等の女性の関心が高いテーマを盛り込み、最初をそのような見せ方にされると女性の参加が増えるのではないかと思ひました。

	<p>また、ワークショップの前に、コンペやヒアリングを行ってということがありましたが、そういった際に女性が発言しやすい内容を少し入れていただくと、女性も参加しやすいと思います。時間帯や曜日については十分工夫されましたので、入り口でそのような見せ方があると参加しやすいだろうと思いつながら聞いておりました。</p> <p>また、越地委員も仰っていましたが、やはりICTを使った双方向のやり取りを今後取り入れていく必要があります、ますますお仕事が大変になるのではと思います、言い辛いというのが感想でございます。</p>
田中副委員長	<p>いいでしょうか。先程成功例を教えていただいたのですが、折角なのでうまくいかないことも是非教えていただきたいです。ここで話しておく、担当課の皆さんにとっても得だと思えます。もし困っていることなどあれば教えていただけたらと思います。個人的に聞いてみたいと思うのは、市長のドンドン語ろう！のお話で、私も南区でお仕事をさせていただいています。今年度の総合計画の見直しのワークショップがありました、ワークショップの日程が重なりました。区役所は少ない人数で対応しており、特にまちづくり交流室の職員は四六時中ワークショップをさせられているという印象が強いです。その辺りのモチベーションをどう上げていくかが課題です。やらないで良いワークショップを間引くということも適切な処置ではないかと思っています。例えば、政策企画課、広聴課、南区の3者で相談したりする場を設けていく必要が今後あるかと思えます。その辺りどうお考えでしょうか。</p>
広聴課	<p>今年の「ドンドン語ろう！」について、市長としては総合計画の見直しが今年度でございますので、それについての意見も「ドンドン語ろう！」の中で広く伺いたい、ワークショップを補完するような形で開催していけたらというのが当初の意向としてありました。「ドンドン語ろう！」の中では市長から説明をさせていただくのですが、話の中には総合計画についての説明も盛り込み、それについてのご意見も伺いたいという流れもありました。市長としてはワークショップだけではなく、より広くいろいろな方から意見を伺いたい意向が強かったと感じております。</p>
田中副委員長	<p>ありがとうございます。やり方の話で毛利委員からのお話の中でもありましたけれども、市長が話したいことを話すという会でしたら、それ相応のやり方があると思えますし、それは市民の方の都合がつかなくても、市長がやりたいときに開催したら良いのだと思います。一方で政策企画課はワークショップがヘビーになりすぎています。僕が焚きつけたせいもあり責任を感じていますが、ワークショップもやらなければならないではワークショップの効果も薄れてくると思います。市長が取り組んでいらっしゃるの市民との対話型の形で、それなりのネーミングを考えていく必要があるのではないかと思います。毛利委員が仰りたかったこともそのようなことではないかと思えます。今後は各担当部署の方だけではなく、横のネットワークを市役所の中でも構築しなければならないのではないのでしょうか。そのキーとなるのが、きっと広聴課になるのではと思っています。</p>

	<p>市民との対話を考えるときには、このようなときはオープンハウス、この時はワークショップなど、幅広くとるのか、コインタビュウのような形をとるのかを考えていく必要があるのではないかと思います。</p>
明石 委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私もワークショップのファシリテーターを20年近くやっておりますが、コンサルタントに丸投げするだけの「形だけワークショップ」も結構あります。それはやる意味がありません。何をやりたいのか目的をはっきりさせないと、形だけやれば良いというわけではないので、安永委員のご意見にもあったように若い人のご意見も吸い上げていくとか、全体的な見直しも必要かなと感じております。</p> <p>では残りの時間、原課の皆様はお忙しいと思いますが、もうしばらくお付き合いください。</p> <p>それでは、議題1「第8回委員会の意見整理について」議題3「市民懇話会のアンケート結果について」に移りたいと思います。</p>
事務局	<p>※資料1「意見整理表」により説明</p> <p>※資料3「市民懇話会アンケート調査結果」により説明</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;事務局説明に併せて田中副委員長がグラフィックを記載&gt;</b></p>
明石 委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>田中副委員長がホワイトボードにグラフィックを書いてらっしゃいますので、その説明をしていただきましょうか。</p>
田中 副委員長	<p>ありがとうございます。まさに最後事務局が言ってくれたことが、今年熊本市が新しく取組んだ成果だと思います。総合計画のワークショップの話が来た時に私は200人集めると無茶なことを言いました。しかし、それを真摯に受け止めて取り組んでくれたので、こういうことが出来たのだと思います。この自治推進委員会を2年間やってきた成果がまとまってきたなと思って、嬉しくなって勝手に絵を描いてしまいました。</p> <p>今日は、せっかく他の課にも来ていただいたので、自治推進委員会が何をしてきたか簡単に説明しますと、参加型の社会を作るときには情報共有が大事だという話をしてくれて、情報の出し手と受け手の留意すべき事項などについて、話してきました。</p> <p>それを6つに整理いたしました。それが①②（下図参照）のところ です。</p>



【田中先生のホワイトボード図】

今までは、行政の方が過保護というか、行政から出した情報を市民が受け取らなければならないというような一義的なものだったと思うのですが、委員の皆様  
の意見の中で、「次の発信者になりうる」であったり「無関心層を諦めない」とか  
かそういうワードが出てきました。

情報の出し手としては「こんなに情報を出しているのに受け取ってくれない！  
あいつらはワル者だ！」という気持ちがあるかもしれない。

私も授業をしていて、授業を聞いていない人には聞いてないほうが悪いと言  
いたいのですが、一方で、聞かない側にも理由がある。例えば、私のしゃべりが早  
すぎると思っているのかもしれない。

では、いかにして無関心層を感心層に引き入れるのかが肝心で、そのためには  
場作りが大事だよねという結論に至って、今日のこの資料1「意見整理表」があ  
るのだと思います。

そして、課題解決の場に必要なのが4つ「集まりやすい・快適」「助言者や  
役立つ物の存在」「多様な参加者」「新しい出会いや繋がり」と書いてありますが、  
これが本当に4つなのか、ということ突き詰めて行くことが残された数回での  
私達の仕事かなと思います。

「多様な参加者」と「新しい出会いや繋がり」は一緒みたいに見えますと思いま  
すが、これは微妙に違って、多様な参加者というのは既に場にきてくださっ  
ている方が多様なことです。例えば今回の総合計画のワークショップでも多様に

	<p>なれば良い意見が出やすくなるのは当然ですが、その一方で、意見がまとめづらくなります。</p> <p>もうひとつは、無関心層をどうやってこっちに引き入れるかという努力です。これは「友達を連れてくる」とか市民も努力できます。学生は無関心な人が多いですが、そのようなごく普通の学生に学生がアピールする場を作ってあげるとか、コンソーシアムとかを活用するとかそういったことも出来るかもしれません。行政ももっとダイレクトにアプローチできるというのが、さっき越地先生がおっしゃっていたICTとかの活用となります。ICTは無法地帯だから放っておくのではなくて、一部使いやすいツールも出てきていますので、どんどん活用していくべきだと思います。その時の色んなルールとかノウハウをどんどん溜めていくのがこの委員会の役割かなと思っています。</p> <p>さっきの委員長の話を聞いていて良いことも悪いこともあると思いますので、その時の失敗例といったものが大事で、あの時は失敗したけど今はこういうツールがあるし、幅広い年齢層から熊本市はワークショップに人を集めることになっているのだから、こういうことも出来るのではというようなことをどんどんやって行っていただければ良いと思います。</p> <p>2年間を図でまとめると、こんな風な図（上記図）が出来ます。発信者はこれに気をつけよう、受信者はこれに気をつけよう、無関心層を取り入れる時はこれが大事、場作りにはこれが大事という風にですね。あとは適切な場を設定するのが大事で、ワークショップだけではなくアンケートでも良いし、グループヒアリングでも良いしみたいなことを考えるのが大事だと思います。</p> <p>皆様の発言があったからこそ、ここまで言えるのです。今日は楽しかったです。</p>
<p>明石 委員長</p>	<p>総合計画のワークショップは私も参加させていただきましたが、凄く盛り上がった議論ができたなと感じました。また、学生の参加も多く、若い人も声をかければちゃんと参加するのだなと改めて思ったところです。</p> <p>本日は事業のヒアリングとこれまでの意見の整理、市民懇話会アンケートの結果、これまでの自治推進委員会でどのようなことをやってきたかを振り返りました。</p> <p>熊本市は総合計画のワークショップも頑張っておられると思います。熊本市は違いますが、形だけワークショップというのは結構あります。田中副委員長もおっしゃったとおり何をしたいかという目的が大事です。ツールはたくさんありますから、場合によってはワークショップも必要だろうし、場合によっては市民に意見を伝える説明会などが必要で、その会の目的を明確にし、場を設定しなければなりません。</p> <p>各区で実施された総合計画のワークショップなんかを見ても、熊本市の職員の皆様の意識の高さというか、ファシリテーター自身も職員の皆様がなさっていたので、あそこまで出来るのは他の団体さんでも非常に少ないのかなと思います。今日ご出席の皆様はこのような意識が高い方ばかりだろうと思いますが、やはりこれからは如何にして高い意識を全庁的に広めて行くか、職員の皆さんの意識変</p>

	<p>革に少しでもこの委員会の意見が役立てていただければ非常にありがたいと思っております。</p> <p>田中副委員長もおっしゃっておられましたが、特に失敗事例を事例集みたいな形でも良いし、庁内連絡会みたいな形でも良いので、そういうものをデータベース化したりしてうまくいかなかった事例を反省して、次はそれをどう活かすか、これが仕事の質を高めて行くことにもなりますから、そういった工夫をしていただくことが大事だと思っております。</p> <p>それでは、各委員から今日の委員会について一言いただいてから閉会にさせていただきますきたいと思います。</p>
篠塚委員	<p>色々な取り組みについてご説明いただきありがとうございました。自分が知っているのは本当に狭いところですが。色々な課で色々な取り組みが、努力とともにされているのが改めてわかりました。大変勉強になりましたし、楽しく聞かせていただきました。</p>
緒方委員	<p>熊本市が政令市になられて本庁と5つの行政区が連携をされる中に、今までも、もちろんなさっていたと思いますが、各課との連携がより一層重要になってくるのではないかなと、長年行政におった身として切に思います。</p> <p>今後、行政の皆様の努力も民に伝えていく立場であると切に感じた次第です。</p>
毛利委員	<p>今日はありがとうございました。</p> <p>色々、情報の共有などについて議論してきましたけども、自分の関心があることこういったことはもちろんそうですけど、将来に向けてどのようなことをやらないといけないのか、まちづくり・地域づくりでどのようなことが必要なのか一緒に行政の皆さんと考えてやっていくということの大事さが今日わかったような気がします。ありがとうございました</p>
安永委員	<p>今日はたくさんお話を聞いて嬉しかったです。</p> <p>女性と若者が少ないということでしたけど、私も正に女性で若者なので、これからも一緒に皆さんと考えていければ良いなと思います。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
遊佐委員	<p>お忙しい中、色々な質問に答えていただきありがとうございました。皆様のお話を聞いて、どれだけ行政の皆様が骨身を惜しまず仕事をされているかわかりました。私もこの立場にいて、女性や子育て世代の方がなかなかこういった場に入ってくる率が少ない、そういったことが悩みごとだと思います。私も自治推進委員をさせていただいておりますので、そういった場に踏み込めない方々を少しでも集めて、皆さんの言葉を聴けるように努めたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
田中副委員長	<p>皆様お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。自治推進委員会からヒアリングされると聞いたときに何をされるのだろうと思った方もいらっしゃると思いますが、私たちは自治推進委員会はすごく大事な委員会だと思っていて、何が出来るかということを考えております。各課から教えていただければ、市市民の目線で、一緒に考えて行きたいと思ってお</p>

	<p>ります。私個人的にはできれば仕事を減らしたいと思っておりますので、先ほどの話を聞いて、失敗の調査みたいなことをするみたいに思われたかもしれませんが、大失敗自慢大会みたいな形で1年に1回くらいやってもらえれば良いかなと思っております。それが熊本市の糧になると思っております。</p> <p>新たに書類を作ってもらおうというのはやめてもらいたい。そんな楽しい企画を作って行きたいと思っております。</p>
<p>明 石 委員長</p>	<p>熊本市は色々な取り組みに積極的に関わっておられるということが、ヒアリングを通してはっきりしました。それから先ほどから申し上げております総合計画のワークショップにも参加して、職員の皆様の高い意識と前向きな姿勢に好感を持っております。ただ、田中副委員長もおっしゃったように、形ではなく実にあるものにするか、どのように情報を共有してゆけばよいか。そういうことを深く考える時期に入っております。田中副委員長がおっしゃったように、書類を作れとかそういったことを言っているわけではございません。例えば、飲み会しながらでも情報共有する場を作っただけとかそういったことを言っているだけです。市全体で取組んでいることを全庁的に意識する風土を作ることが大事であろうということで私からの感想として述べさせていただきます。</p> <p>それでは、予定していた終了の時間となりましたので、これもちまして、本日の委員会は終了いたします。ありがとうございました。</p>